

旅行

星好きさん御用達

「SHIBUYA SKY (渋谷スカイ)」

渋谷上空229mから眺める星々、360°の眺望。これが渋谷駅を出てすぐというロケーションで堪能できるとは…

渋谷駅直結・直上の渋谷スクランブルスクエア、14階・45階～屋上にあるSHIBUYA SKY [シブヤスカイ]。かつて渋谷駅前にあったプラネタリウムが担っていた知的好奇心を育む文化施設としての役割を引き継ぎ、2019年に生まれました。

渋谷駅直結・直上の渋谷スクランブルスクエア、14階・45階～屋上にあるSHIBUYA SKY [シブヤスカイ]。かつて渋谷駅前にあったプラネタリウムが担っていた知的好奇心を育む文化施設としての役割を引き継ぎ、2019年に生まれました。

現在、月に1回のペースでイベント「ROOFTOP天体観測」を開催中で、2024年3月までは声優 古谷徹さんの星空案内が放送されています。ピクセンの天体望遠鏡とスタッフもこのイベントをお手伝いしています。

プレゼント

アンケートでプレゼント

ハガキまたはEメールにて下記のアンケートにお答えください。抽選で4名の方にプレゼントを差し上げます。

書籍「宇宙の図鑑」

2022年7月の観測結果も含め、最新の観測データを織り交ぜてビジュアルで迫る図鑑。身近な惑星に始まり、太陽系外の惑星、星誕生の現場など、現在わかっている姿を詳しく紹介。子供の好奇心も大人の探究心も満たしてくれる1冊です。誠文堂新光社刊。

1名様

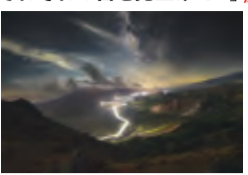
「SHIBUYA SKY」入場チケットページ上で紹介したSHIBUYA SKYの入場チケット大人2名分を、WEB購入時にも利用可能なため、事前に日時予約しからの来場がオススメです。

- 住所氏名 ■ 年齢 ■ 性別 ■ Eメール ■ So (双眼鏡) / TEN (天体望遠鏡) / Ken (顕微鏡) の使用状況 ■ ご希望の商品 ■ 今号のSo-TEN-Kenについてのご感想や今後の掲載記事についてのご希望などを明記の上、ハガキまたはEメールにてご応募ください。

Vol.85 (2022-2023冬号) 3Dバズル 火星衝…………… 神奈川県横浜市 木村和嶋さんの当選者

お知らせ

「第3回 星空フォトコンテスト」



ピクセン主催「第3回 星空フォトコンテスト〜それぞれの宙を見上げて〜」の入賞作をWEBサイトで紹介中です。約1800点の応募作品の中から選ばれた、息を呑むような星空。動画作品もありますので、下のQRコードからアクセスしてみてください。

お知らせ

So-TEN-Ken がWEBでも読めます

So-TEN-Ken Vol.85からWEBにてPDF版のSo-TEN-Kenがダウンロード、印刷ができるようになりました。そして前号Vol.86からは、WEBコンテンツとして記事が読めるように。パソコンはもちろん、スマートフォンやタブレットでもいつでも気軽にSo-TEN-Ken。見る楽しさがまたひとつ身近になりました。

子供の科学

身近なサイエンス、楽しい実験と工作、自然科学の「やさしい入り口」毎月10日発売 85円 通常定価770円(税込)

月刊天文ガイド

観測、写真、毎月の天文現象など、初心者からベテランまで、天文ファン必読。毎月5日発売 85円 通常定価1,100円(税込)

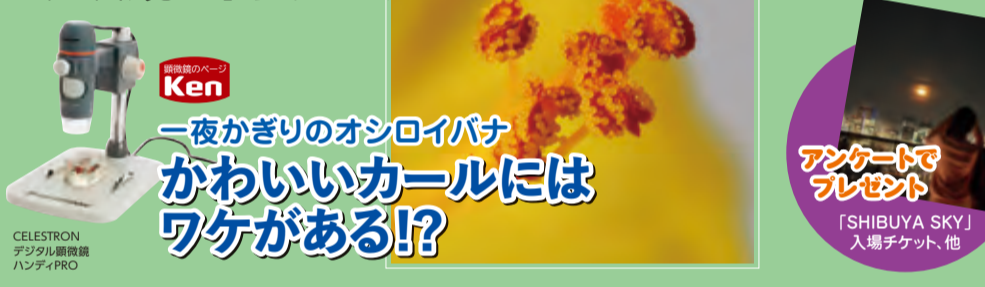
So-TEN-Ken vol.87 2023 Summer



今年の夏は金星がキラッキラ。あの金星から宇宙を学ぼう!

はじめての天体撮影 18時間のカメラだけで流星群を撮ろう 「天体観測用ライト SG-L02」

流星群の空に双眼鏡を向けてみる 2023年6月から8月の天文カレンダー/惑星ガイド



一夜かぎりのオンロイバナ かわいいカールにはワケがある!?

株式会社ピクセン 光学機器のことならピクセン

So-TEN-Ken 次号 (2023 秋号) は、2023年9月発行予定です。 観察の記録: 顕微鏡 F11000 (100倍) 200mm (200倍) 200mm (200倍) 顕微鏡 F11000 (100倍) 200mm (200倍) 顕微鏡 F11000 (100倍) 200mm (200倍)

So-TEN-Ken 次号 (2023 秋号) は、2023年9月発行予定です。 観察の記録: 顕微鏡 F11000 (100倍) 200mm (200倍) 顕微鏡 F11000 (100倍) 200mm (200倍)

SO-TEN-Ken

天体望遠鏡

NEWS 8月27日は土星が、31日は月が…地球に一番近く、大きく見える日

太陽を中心に周回(公転)している地球と土星。それぞれ違う速度で回っていて、太陽と地球と土星が1直線に並び、ときを衝(しよ)と呼びます。それが8月27日。

- 地球と土星の距離が最も近い
土星は日没頃に昇ってきて、日の出頃に沈む
最も大きく見える
ほぼ一晩中見られる

という、観察にうれしい条件がそろいます。地球と土星の距離はゆっくりと変わるのですが、このメリットは雷の前1か月半くらい続きます。つまり7月上旬~10月上旬は土星観察にオススメとなります。



満月の大きさを比較
1年のうち、最も大きく見える満月(スーパームーン)と最も小さい満月の比較。撮影:©井川雅博(2020.4.8 / 2020.10.31)

今年の夏は金星がキラッキラ。あの金星から宇宙を学ぼう!!

「明けの明星」や「宵の明星」と言われて、金星は夜中に見えないの?…そう、どんなにがんばっても、夜中に地球から金星を見ることはできません。

ルール1 月のように満ち欠ける

地球など惑星は自分から光を出すのではなく、太陽光に照らされることで見えています。月のような衛星も同じです。だから太陽光の当たっている部分と当たっていない部分があり、それが満ち欠けとなって見えるのです。



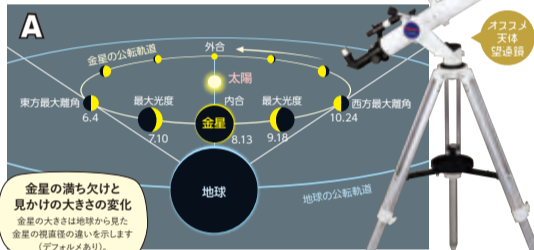
ルール2 大きさが大胆に変わる

公転軌道上を移動している惑星同士の距離は、大きく変化します。それで地球から見た金星の大きさも大胆に変わります。

ルール3 観察にオススメは最大離角

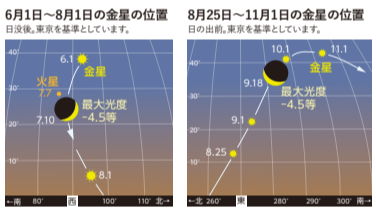
イラストAは宇宙から見た太陽と金星と地球です。地球から見て金星が太陽からいちばん離れている位置を最大離角[さいだいらく]と言い、このときに最も長い時間、金星を観察することができます。

また金星がいちばん明るくて見やすいときを最大光度と言いますが、これは①地球との距離が近い ②太陽に照らされている面積が広い この2つの条件の微妙なバランスによって決まります。



金星カレンダー

Table with 2 columns: Date and Venus observation details (e.g., 6月4日 東方最大離角).



Planet Book (プラネットブック) 無料. Includes QR codes and product information for the Planetarium 880MF.



この星図は東京を基準として以下の日付時刻の夜空を表しています
6月1日 1:00ごろ 7月15日 22:00ごろ
6月15日 0:00ごろ 8月1日 21:00ごろ
7月1日 23:00ごろ 8月15日 20:00ごろ

2023年6月~8月の天文カレンダー

Calendar grid for June, July, and August 2023, listing astronomical events like planet oppositions and conjunctions.

カメラだけで流星群を撮ろう. Includes tips on camera settings (ISO, shutter speed) and shooting points for the Perseid meteor shower.

天体観測用ライト SG-L02. Product advertisement for a light used in astronomy, highlighting its features and ease of use.

惑星ガイド (Planet Guide) table listing observation periods and directions for Jupiter, Saturn, Uranus, and Neptune.